

# 小施策評価シート (平成 27 年度実績評価)

施策コード	19	施策名	社会を担う人材の育成	
小施策コード	19-1	小施策名	若い世代の活躍支援	
小施策 主管課等コード	135000	小施策 主管課等名	経済企画課	
評価責任者名	後藤 敏弘		内線番号	3710
評価シート作成者名	高橋 博文		内線番号	3711

## Step 1 小施策の全体像

### 小施策の概要等 (構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり)

現状と課題	<p>若者を取り巻く労働環境は、非正規雇用などの不安定な雇用、求職側と求人側のニーズが一致しないミスマッチ、県外に就職先を求める若者が多いことなどの課題がある。また、教育や職業訓練などを受けない無業者となっている、いわゆるニートと呼ばれる若者が存在するなどの課題もある。</p> <p>このため、在学中からキャリア教育などによる就労観の育成や地場企業を知る機会を設けるなど、若者が社会で活躍できるための様々な支援を行う必要がある。</p> <p>また、女性の労働力率は、子育て期に当たる 30 歳代で低下するものの、就業希望者は多く、非常に大きな潜在力となっている一方で、さまざまな課題があることをから、就業や社会参加など個々に支援が必要となっている。</p>
取組の方向性	若い世代に対して、就業や職場定着などに係る情報提供や各種支援を行い、就学等から就業へ円滑に移行できる環境を整える。
対象 <small>(誰(何)を対象として行うのか)</small>	市民
意図 <small>(対象をどのようにしたいのか)</small>	社会で活躍できる

## Step 2 成果指標の推移

(↑: 数値を上げていくことを目標とする指標, ↓: 数値を下げっていくことを目標とする指標, →: 数値を維持することを目標とする指標)

指標項目	単位	25 年度 実績 (現状値)	27 年度 実績	31 年度 目標値	36 年度 目標値
A 地域若者サポートステーションの支援を受けて進路を決定した人数 (↑)	人	151	116	170	170

B	ジョブカフェいわての利用者数 (↑)	人	29,529	32,310	30,000	30,000
C	( )					

### Step 3 市民ニーズの把握

ジョブカフェに委託している新社会人定着支援事業の参加者へのアンケート調査の結果によると、「大変良かった」59.6%、「良かった」40.4%と効果をあげていることから、継続実施が期待されているものと判断する。

### Step 4 役割分担分析

#### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	若い世代に対して、就業や職場定着などに係る情報提供や各種支援を行う。	30
	国・県・ 他自治体	国・県の施策と連携して効果的な支援を行う。	30
	市民・ NPO	協力し、子育てに取り組む。ボランティア活動など多様な体験活動に参加する。地域の活動に若い世代や女性が活躍できる場を創造する。	20
	企業・ その他	ワーク・ライフ・バランスの実現や女性活躍の重要性などに関する教育・啓発活動の推進を図る。	20

#### 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

各主体がそれぞれの役割を果たしていくことにより、問題解決に繋がるものであり、市の役割の比重が拡大したり縮小するということはない。

### Step 5 成果・問題点の把握と改革改善案

#### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

##### (1) 小施策の中で成果をあげた点

若年者（概ね35歳未満）に対し、就職相談や職業意識の啓発を行う「ジョブカフェいわて」の利用者数が年々増加しており、カウンセリング者数と就職者数も一定の水準を保っている。

## **(2) 成果をあげた要因**

様々なセミナーの開催等により「ジョブカフェいわて」事業の知名度が向上してきたため。

## **(3) さらなる成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）**

## **2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定**

### **(1) 小施策における現状の問題点**

「もりおか若者サポートステーション」でカウンセリング等を担当している若年無業者の同ステーションの利用者数、新規登録者数、進路決定者数が全て減少傾向にある。

### **(2) 現状の問題点が生じている原因**

引きこもり（いわゆるニート）の実態把握が困難であり、周知活動が有効に機能していない。

### **(3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題**

引きこもり（いわゆるニート）に対して、「もりおか若者サポートステーション」の情報を伝える。

## **3 改革改善案（上記1(3)及び2(3)で設定した課題に対する具体の取組）**

盛岡広域の市町が連携して、各市町の広報誌やホームページに「ジョブカフェいわて」、「もりおか若者サポートステーション」に関する記事を掲載する等、周知活動を強化する。

## **Step 6 小施策と構成事業の関係性**

### **1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業**

該当事業なし。

### **2 1で記載した事業についてその理由**

### **3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）**